

多機能型児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月 児童発達支援

事業所名 水戸市重症心身障害児(者)通園施設 あげぼの学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		重症児への環境調整	適切であると判断しています。
	2	職員の配置数は適切である		○		重症児対応のための看護師・作業療法士の確保が課題です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		小規模施設としての環境・空間の整備	身体障害に対応した配慮をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		床暖・空調設備を完備 衛生管理	実施しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		PDCAサイクルに職員が広く参画できる体制づくりに努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今後更に保護者等の意見を把握し、業務改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			実施しています。 ホームページに公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は実施していません。 今後の検討事項です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	実践に必要な資料の提供	多機能型で職員の外部研修は難しい面がありますが工夫したい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメント時保護者と面談	実施しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたアセスメントは使用していません。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		提供すべき支援については、適切に選択しているが、児童発達支援ガイドラインに沿った支援については今後の検討課題です。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			実施しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		立案は担当が行っていますが、活動はチームで行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月毎にプログラムを作成	実施しています。
	16	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		動と静のプログラム	子どもの発達に応じて計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			担当で確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している		○		支援の質の向上のためにも今後は振り返りを実施します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケース記録・連絡帳に支援経過を記載	記録を基に保護者と連携し支援の改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者との面談	年2回モニタリングを実施しています
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		現在のところ開催されていません。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		関係機関と連携した支援は実施していない状況です。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		連携はとれていない状況です。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		保護者をととして主治医の診断・指示等を確認し支援に活かしています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援としての情報共有・相互理解はとれていないのが現状です。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校に細かく情報を提供し特別支援学校との相互理解を図っている。	移行支援としての情報の共有・相互理解は図られています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		実施していません。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交渉や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			現在のところ実施していません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議棟へ積極的に参加している	○		児童発達管理が参加	実施しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		面談及び保護者送迎時に子どもの状況を報告する	実施しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		実施していません。 今後の検討課題です。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に説明	実施しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画の作成 半期ごとの評価	個別支援計画を作成し、保護者に説明、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。		○		定期的には実施していない。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会は実施していませんが、機会を捉えて連携を支援しています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○		保護者からの相談があった場合には迅速に対応しています。

37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月活動予定表を配布園だよりの配布	実施しています。
38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	保管場所に注意	今後も十分注意します。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	会話には十分配慮している。	実施しています。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	各行事を地域に案内	実施しています。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施している	○		マニュアルは整備されましたが、訓練は実施されていません。今後実施を検討します。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行っている	○	定期的に避難・総合防訓練の実施	実施しています。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○	利用開始時に確認	実施しています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者からの情報	実施しています。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集は作成していないがその都度事例を共有している。
46	虐待防止をするため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止職員チェックリスト	実施しています。研修の充実が課題です。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	文書で提示	実施しています。

.

い

か

て

收
上。

こ

。。

。

。

練

度